別紙１　(表紙）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| |  |  | | --- | --- | | 市町村名等 |  | | 実施年度 |  | | | | | | |
| 令和　　年度  チャレンジ！みやぎ500万本造林事業  実施設計書  事業実施主体名  所 在 地 | | | | | |
|  | 設  計 | 所　属　機　関 | 氏　　名 | 印 |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  | | | |
|  | | | | | |

別紙１－２

チャレンジ！みやぎ500万本造林事業　実施設計書

１　事業実施主体の概要について

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業実施主体 | |  | | | |
| 代表者 | 職　名 |  | | | |
| 氏　名 |  | | | |
| 所在地 | |  | | | |
| 主たる事業内容  （主たる業務が林業関係ではない場合に記入） | |  | | | |
| 担当者　職・氏名 | |  | 担当者  連絡先 | 電話 |  |
| FAX |  |
| E-mail |  |
| 連携機関名 | |  | | | |
| 連携機関の  主たる事業内容  （主たる業務が林業関係ではない場合に記入） | |  | | | |

２　計画しているモデルエリアについて

|  |  |
| --- | --- |
| 施行地 |  |
| 施工時期 | 自　令和　　年　　月　　日　　至　令和　　年　　月　　日 |
| 現地の状況  （該当するものに○） | １．伐採前  ２．伐採中  ３．伐採後（経過年数　　年　　か月） |

３　計画している事業内容について

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業種目 | | 低コスト再造林の実践提案 | |
| 事業内容 | | 面　　積：　　　　　　ha  一貫作業：（ 有り ・ 無し 　）←該当するものに○  樹　　種：  植栽密度：  使用苗木： ① （コンテナ苗　 ・ 裸苗　　）←該当するものに○  　　　　　 ② （花粉症対策苗木・ 普通苗木）←該当するものに○  　　　　　 ③ 規　　格：  　　　　　 ④ 特記事項：  　　　　　　　　（残苗、規格外苗、当年生苗、特殊容器使用 等） | |
| 低コスト化・省力化につながる取組内容 | | １　低コスト化・省力化の対象  （募集要項別表の分類欄を参考に記載）  ２　低コスト化・省力化の方法  （募集要項別表の細目欄を参考に，以下の項目を記載）   * 実施する者 * 使用する機械，資材 * 施業の方法 * 施業の時期 * 想定される効果   （最新機械の導入等、初期費用を要する手段により省力化を図る場合は、一定期間経過後のトータルコストにおいても評価すること）  ３　アピールポイント  　（本実践提案の内容について、独自性や波及効果に係るアピールポイントを記載） | |
| 年度別  概算コスト比較 | | 別紙１－３のとおり | |
| 事業のPR方法 | | （説明会の開催や視察受け入れ、動画配信等、低コスト・省力化事例のPR方法等を記載） | |
| 他機関との連携方法 | | （他機関との連携により取り組む場合、連携方法や役割分担等について記載） | |
| 事業実施後の植栽地管理方法 | | （事業実施後、植栽地の管理方法を記載） | |
| 事  業  費 | 植栽等経費 | 事業費（税込み）　　　　　　　　　円  （内訳等がわかる資料を別途添付） | |
| 諸経費  （事後調査・  報告書等作成） | 上記×0.1 円 | |
| 合　計 | 円 | |
| 事業費の負担区分 | | 県補助金 | 円 |
| 自己負担 | 円 |
| その他（　　　　　　　　） | 円 |

５　添付資料

（１）事業費の内訳がわかるもの（指定様式）

（２）見積書（一般的な再造林には使用されない苗木、機械、物品等に係る主なもの）

（３）位置図（縮尺５万分の１）

　 （４）事業計画図（縮尺５千分の１の森林計画図に植栽区域を図示）

　 （５）現地写真（２～３枚程度）

　 （６）審査会用の説明資料（必要に応じ）

* 応募段階において、事業地等が確定していない場合、（３）～（５）の資料については、確定後に提出すること。ただし、10月末までに提出できない場合は、採択を取り消すものとする。